ハーレーダビッドソンと、生きてゆく。

第1巻第5号2008年5月1日発行　ホットバイク・ジャパン5月号　奇数

HARLEY-DAVIDSON THE MAGAZINE FOR HUMAN BEINGS WHO R

HOT BIKE

ホットバイク・ジ

Japa

2008 MAY

100号突破記念

スペシャルプレゼ

NEIGHBORHOOD

TECHNICAL APPAREL

7STARS

HOT BIKE Japan

25% CREW T-SH

JASO

JESSE

神風魂

THE

DRIVER

101

CHOP HARD or STILL U

ビンティッジハーレーの

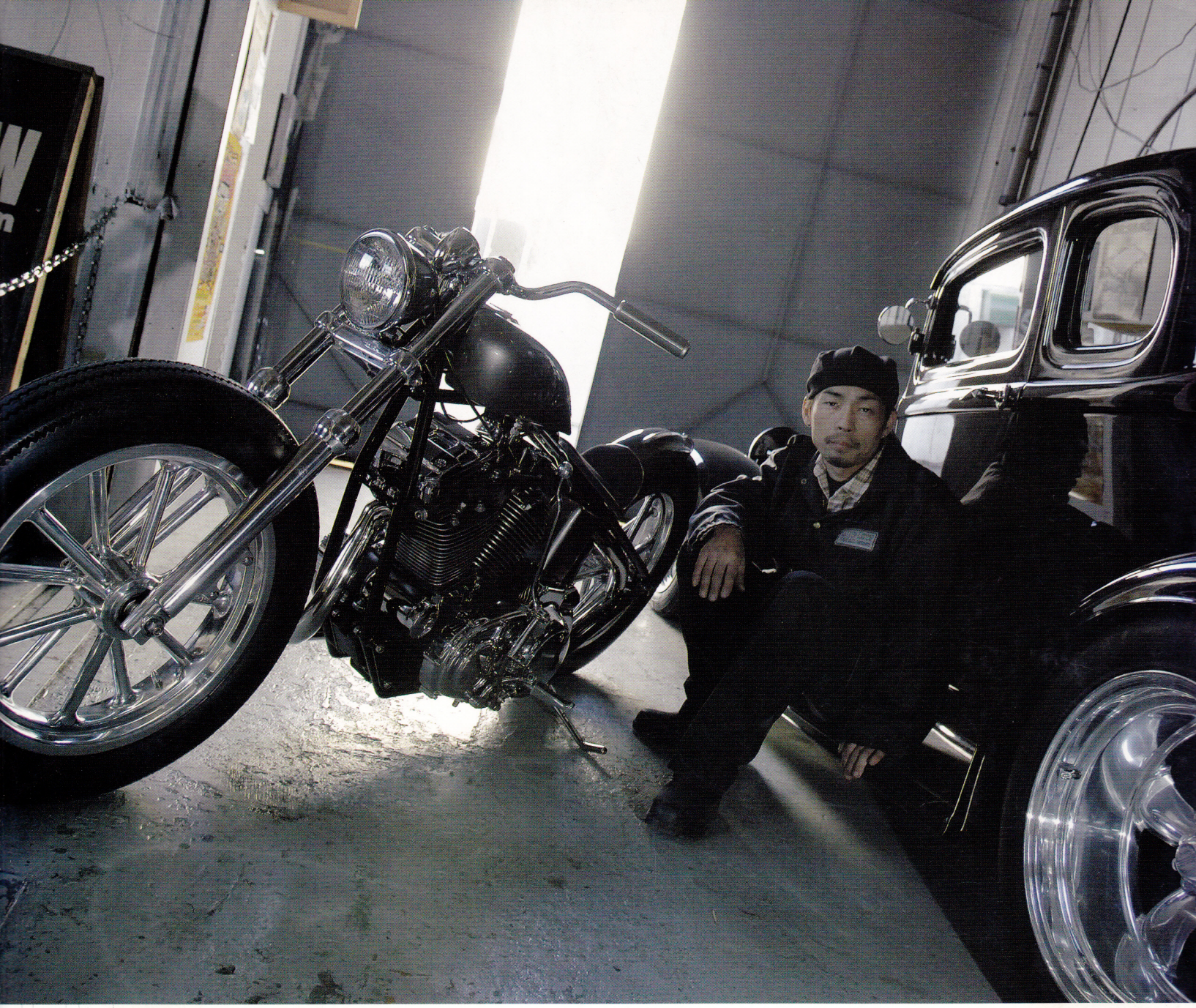
GARAGE MENTEN

じっくり見せます、メンテナンスの

H-D GENUINE FACTORY CUS

WESCO BOOTSの

THE DAYS OF CUSTOM PAINT シェイキン清水のスピードグラフィッ



撮影◎堤　晋一
photographs by Shinichi Tsutsumi
取材協力／ワンロー・ロッド&カスタム
phone 042-556-4516

ONE LOW, ROD & CUSTOM

覚醒するストリートロッド

2001 SPORTSTER

4輪のホットロッドシーンにおいて、48年までのアメ車をベースにエンジンや足周り、外装をカスタムすることに単を発したストリートロッド。そのエッセンスをバイクに取り入れ完成したマシンがこの01スポーツスターだ。

物心付いた時には既にモーターマシンのトリコになっていたOne Low, Rod&Custom代表の田崎勝也。幼少時プラモデルを作っていた際は既成品では飽き足らず、パテでオリジナルパーツを制作し組み上げていたと言う。当時10歳にも満たない少年のコダワリはそのまま時を経、現在に至る。

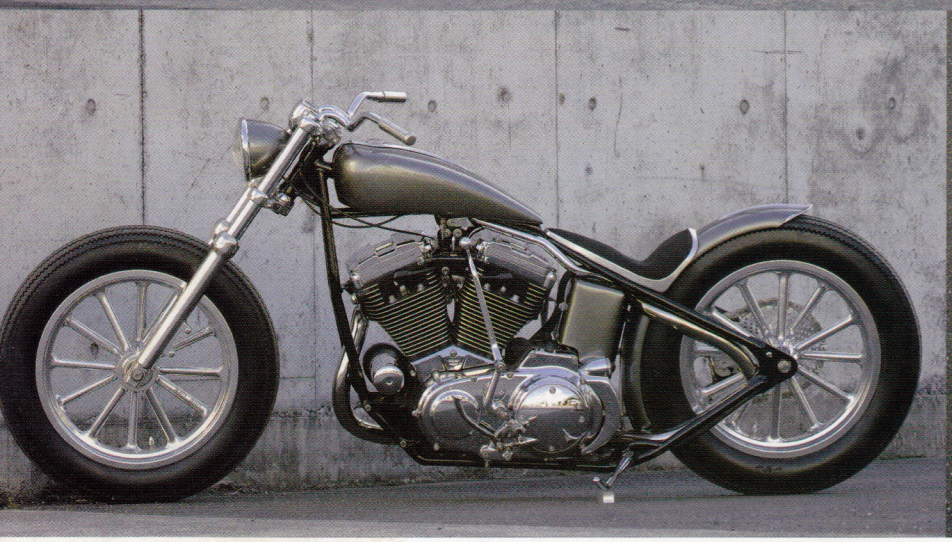
バイクを始めホットロッドカーにも精通するビルダー田崎。32フォード・デュースクーペを愛車に持ち、そのマシンはホットロッドの祭典HCSでアワードを受賞。自身が納得行く造形へと、全体のバランスにウェイトを置いたクリーンかつエレガントなフォルムは高次のクオリティを放つ。

エンジンはホットなものを。ストリートロッドの通例に漏れずモーターは信頼性の高い4CAM　EVOをチョイス。そして4輪ドラッグレーサーに用いられたカルマグ・レプリカホイールを前後にセットし、外装は極力シンプルにまとめられる。フレームリアエンドの内側を沿うオイルタンクやデュースクーペのドアノブを使ったバッテリーBOXノブ。更にリンケージを介しセルモーターに直結したキックスタート風セルスタートノブなど、自身の趣向を色濃く反映させたギミックの効いた作り込みは圧巻である。

「ドラッグスタイルの中にも大人の雰囲気が出てると思う。ストリートロッドに乗る人のデモハーレーを作りたかった」

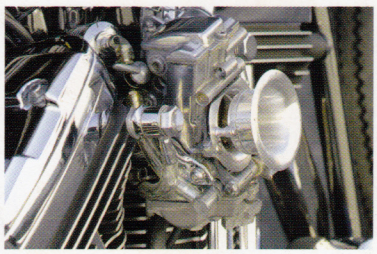
見事なプロポーションの中に息のつまるような容積感。そして、プロフェッショナルとしてビルダー田崎のコダワリが凝縮された抜かりないディテールワーク。これらがバランスし、全体の印象にとっての源を形成している。

ALL RIGHTS RESERVED.
UNAUTHORIZED COPYING, REPRODUCTION,HIRING, LENDING,
PUBLIC PERFORMANCE AND BROADCASTING PROHIBITED.

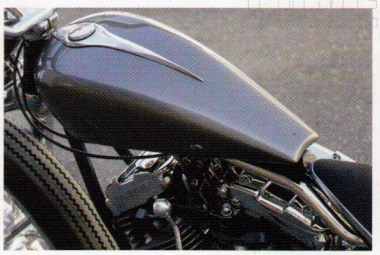


前後18インチのホイールを装着し流麗なラインを描くスタイリング。上から見るとより明らかになるスリムな造形はワンオフパーツによる賜物。SPLASHによるパールとメタリック、そしてグリーンを調合したカラーリングがジェントルな雰囲気を決定付ける。走り易さを考慮しフォークは39φスポーツ純正を、そしてハンドルは手前にベントし良好なライディングポジションを確保。ヘッドライトは古き良き時代を彷彿させるアレン・ネスのオールドタイプをチョイス。奇をてらわないマフラー形状がマシンと見事調和する。

限りなくシンプルにまとめたリアエンド。アルミの質感が光るソロシートにフェンダーのリブ加工など、細かい処理を施すことでマシンの完成度を高めている。

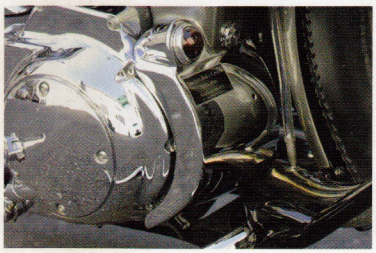


ストックモーターにはビルダー田崎の趣向によりスロットルレスポンスが良いFCRをセット。さり気なくも存在感あるファンネルはYOSHIMURA製。

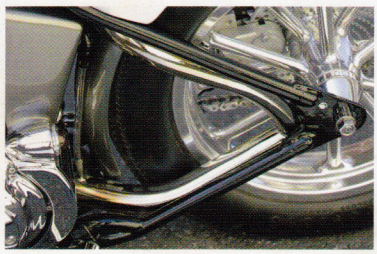


汎用タンクをベースにセンターを詰めアンダーパネルを製作。スピード感ある独自の形状にフィニッシュ。タンク上のワンオフアクセサリーがこだわりだ。

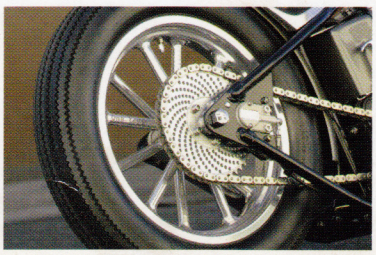
デジタルメーターを装着したトリプルツリー。シンプ&クリーンのコンセプトによりトップクランプのエッ部はサンダーで綺麗なアールに整形される。



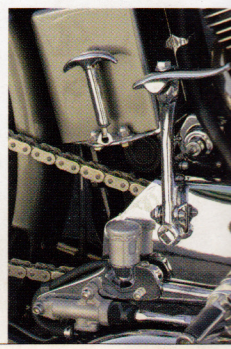
テールライト周りも見せ場となる。ライトとナンバーステーを一体にしプライマリーのアールに合うよう整形。アーティスティックな造形が光るパーツだ。



フレーム内側に沿うパイプが見えるだろうか。実はオイルタンクである。オイルはシート下から注入。マシンフォルムを最優先した結果の作り込みは圧巻だ。



ホットロッドに精通する田崎ならではのチョイスといえるカルマグ・レプリカホイール。キャリパー周りはスプロケブレーキのISR製でクリーンに仕上げる。



バッテリーBOX取り外し部に装着したデュースクーペ用ノブ。キックペダル風ノブはその実、直押しでセルと連結したスイッチになるギミックが効いた作り。